

私の推薦



うちのえさん (内野さと恵さん) (著 桜山四)

おすすめまそつだな

ひろくいとこにパキパキとアンキロザウルスのあかちゃんが出来ました。あかちゃんをさみしくしてしましました。

「はやくおとうさんみたいになりたいなあ」親をしたうアンキロザウルスのあかちゃんは思いました。

宮西達也 作・絵

「おれはティラノサウルスだ」「きみはほんとうにすてきなね」「おとうさんはウルトラマン」など宮西達也さんの絵本は親と子・友情・楽しさ・淋しさ・悲しさいろんな想いがぎゅっと詰まった一冊です。

新着図書情報

泗水図書館

命のことは

瀬戸内寂聴 著

作家・僧侶として活躍する瀬戸内寂聴が、先人たちが残した智慧のことはを選び、苦しみと無常の世に生きるすべての人に贈る珠玉の「ことは」集。

不思議の国のトットちゃん

黒柳徹子 著

トットちゃんの大好きなもの、大切にしてきたこと。そして世界中の子どもたちの笑顔もいっぱい詰まったエッセイ。スマトラ沖地震の津波被害も緊急報告。

子乞い

森口 裕 著

80年代初頭、鳩間島の住民は親戚の子を借りてきてまで小学校を存続させようとした。今では各地から居場所を失った子どもたちがこの島へやってくる。「瑠璃の島」原作。

海に沈む太陽

梁石日 著



16歳で家出した輝雅は米軍の船で東南アジア各地を航海。様々な職業を転々とするうち、「画家になってNYへ行きたい」との願いがざし……。画家・黒田征太郎の青春時代を下敷きに「血と骨」を凌ぐスケールで描く不屈の青春。

韓国およめいり

阿部美穂子 著

突然韓国へ嫁ぐことになったアイドル阿部美穂子が、驚き満載の新婚生活をセキララかつユーモラスにつづったコミック&エッセイ。

無頼の絵師

澤田ふじ子 著

一介の扇絵師が起こした騒動の驚くべき結末。天災に恵まれながら世に出ようしない扇絵師の胸中とは。公事宿の居候・田村菊太郎の活躍を描く時代小説シリーズ第11弾。

幸福な結末

辻 仁成 著

いつまでも失うことのできないものを、わたしはきっと愛と呼ぶ。男と女が運命によって呼び合わされたとき、新たな人生が始まり、明日への希望と祈りに包まれる。光の都・プリュッセル発、愛の物語。

浄土

町田 康 著

あなたはどぶに立ち、汚濁にまみれて立ちつくしている1個のピバカップをちやちやちゃんに見なければ。凝視して、そして笑わなければあかぬかったのだ。THIS IS PUNK! 破天荒なる暴発小説集。

ヤンボコ

義家弘介 著

母校北星余市高校から横浜市教育委員会へ。インメ、薬物、飲酒、援助交際……。場所は変わっても、ヤンキー義家は教育の現場で戦い続ける！母校北星余市高等学校での最後の1年を刻んだ記録。

年金のすべてが面白いほどわかる本

田中章二 著

公的年金という老後生活費の一部としてとらえがちだが、他にも遺族給付や障害給付がある。公的年金(国民年金、厚生年金、共済年金)がよく分からない人に、仕組み、有利な受給法と手続きまでを平易に解説。

ほしまつりの日

宮川ひろ 作 ふりやかよこ 絵

山の小学校の1年生は7人。あいこ先生と一緒に、ほしまつりの日に書いた年に一度の願いごと。村のお年よりが見つめる中、それぞれの子どもの思いをあたたく描いたお話。

とおいとおいおか

谷内こうた 絵と文

ぼくは羊飼いの犬、今日は遠い丘までいって。あそこはいい風。やわらかな草。あらら……。羊たちは空にのぼって行ってしまい、もう羊が雲か分からなくなってしまいました。



ロアルド・ダールコレクション2

チョコレート工場の秘密

ロアルド・ダール 著 クエンティン・ブレイク 絵

チャーリーが住んでいる町に、世界一広大で世界一有名なワッフルのチョコレート工場がある。そこへ、5人の子どもたちが招待されることになって……。

雪の女王

アンデルセン 作

雪の女王にさらわれた仲よしのカインを追って、グエルダは山をくぐり、雪あらしとたたかい、ついに北の果てにある女王の氷の城へたどりつく。アンデルセン童話の集大成といわれる名作の完結版。

子ども版声に出して読みたい日本語6

斎藤 孝 編

ベストセラー「声に出して読みたい日本語」を、子ども向けの教育的な絵本として編んだ子ども版シリーズ。

中央公民館図書室



目からウロコの日常物観察

野外活動研究会 編

路上に転がるモノたちを観察すればするほど、不思議な暮らしの有り様が見えてくる。人間がみずから人間のために作った「人工物」をどのように扱っているか、物が溢れる現代を問直す機会に。

魂萌え

桐野夏生 著

夫の急死後、世間という荒波を漂流する主婦・敏子。親に依存する子どもたち、死んで初めて知る夫の隠された素顔。年齢を経れば経るほど成熟し、迷いのない人生を送ることができると信じていたはずが...60歳を前に感ずる心は何処へ？

古道具 中野商店

川上弘美 著

東京近郊の小さな古道具屋でアルバイトをする「わたし」。ダメ男感漂う店主・中野さん。むつり屋のタケオ。どこかあやしい常連たち……。商店を舞台に繰り広げられるなんともじれったい恋や世帯をこえた友情が描かれた幸福感あふれる長篇小説。



妻への詫言

日経マスタース 編

「定年夫」が書いた口には出せない思い。妻からの反撃と愛情。夫婦が互いに本音をぶつけ合う150通の手紙。

私の家は山の向こう

有田芳生 著

スパイ説、本当の死因、中国政府の震、天安門事件との繋がり……。全ての謎の答えはこの本にある！没後10年、いま明らかされる「アジアの歌姫」の真実。

目より情報

朝食ばんざい

暑い季節になりました。体調を崩しやすいときこそ、しっかり朝食を食べて元気に仕事や勉強に頑張りたいですね。和食党、洋食派の人にも喜んでもらえる朝ごはんの本を集めてみました。(泗水図書館)

石を使ってペーパーウェイトを作ろう

7月17日(日)午後2時からはお楽しみ会です。今回は自然の石を使ってペーパーウェイトを作ります。皆さんの参加、待っています。(泗水図書館)

7月は文月

7月のことを日本の古い呼び方で、文月(ふみづき)といいますね。他にも七夕にちなんで、七夕・棚機月(たなばたつき)、秋の七草の花の名をつけて女郎花月(おみなえつき)などいろいろあるそうです。(中央公民館図書室)

7月24日(日)は芥川龍之介の命日です

7月24日(日)は、「鼻」や童話「杜子春」、「蜘蛛の糸」などを次々と発表した芥川龍之介の命日です。この年に書かれた「河童」にちなんで、この日を「河童忌」といいます。この機会に名作にふれてみませんか。(中央公民館図書室)

毎日、本の読みかきせをしています

七城公民館図書室では、放課後図書室を利用する子どもに、毎日、本の読みかきせをしています。0歳からの絵本もたくさんそろえておりますので、散歩がてらお立ち寄りください。また、泗水図書館移動図書コーナーも設けていますので、併せてご利用ください。(七城公民館図書室)

問い合わせ先

- 中央公民館図書室 ☎ (25) 1672
- 七城公民館図書室 ☎ (25) 1580
- 旭志公民館図書室 ☎ (37) 3111 内線 303
- 泗水図書館 ☎ (38) 6866

7月の予定

	中央公民館 図書室	七城公民館 図書室	旭志公民館 図書室	泗水図書館
1 金				
2 土			閉室日	
3 日	閉室日	閉室日	閉室日	
4 月				休館日
5 火				
6 水				
7 木				
8 金				
9 土	きくちおはなしのもり おはなしかい 10:30~		閉室日	おはなしかい 11:00~
10 日	閉室日	閉室日	閉室日	
11 月				休館日
12 火				
13 水				
14 木				
15 金	閉室日			
16 土			閉室日	古典を楽しむ会 14:00~
17 日	閉室日	閉室日	閉室日	お楽しみ会 14:00~
18 月	閉室日	閉室日	閉室日	休館日
19 火				休館日
20 水				
21 木				
22 金				
23 土	きくちおはなしのもり おはなしかい 10:30~		閉室日	おはなしかい 11:00~
24 日	閉室日	閉室日	閉室日	
25 月				休館日
26 火				
27 水				
28 木				
29 金				
30 土			閉室日	
31 日	閉室日	閉室日	閉室日	休館日